



# 榎

# 原

# チャレンジ! 一歩へ

下郷町立榎原小学校

学校だより No.36

令和2年12月15日

文責:校長 酒井 健

### ◇「書きぞめ」の書写指導、大変ありがとうございました。

12月2日(水)と11日(金)の2回にわたって、書道界の第一人者であります白石光史先生においていただき、3~6年生の子どもたちが、それぞれ、書きぞめの文字の特徴や書き方のポイントなどについて丁寧に指導をしていただきました。

普段の授業より少し長めの時間となりましたが、どの学年の子どもたちも、真剣に学ぼうという思いをもち、白石先生の一言一言を聞き逃さないように、しっかりと聞いている様子を見て、素晴らしい学びの姿だなと感じました。白石先生との「書」の時間は、子どもたちにとって貴重な学びの時間となりました。白石先生、ありがとうございました。



白石 光史(しらいし こうし) 先生  
 下郷町教育委員会委員(教育長職務代理者)  
 会津書道院 香墨 主幹  
 会津書作家協会 会長 他  
 ※ 県内はもちろんのこと、全国に先生の書のお弟子さんがいらっしゃいます。まさに書の第一人者です。

# うし年

【第3学年】

# 冬の山里

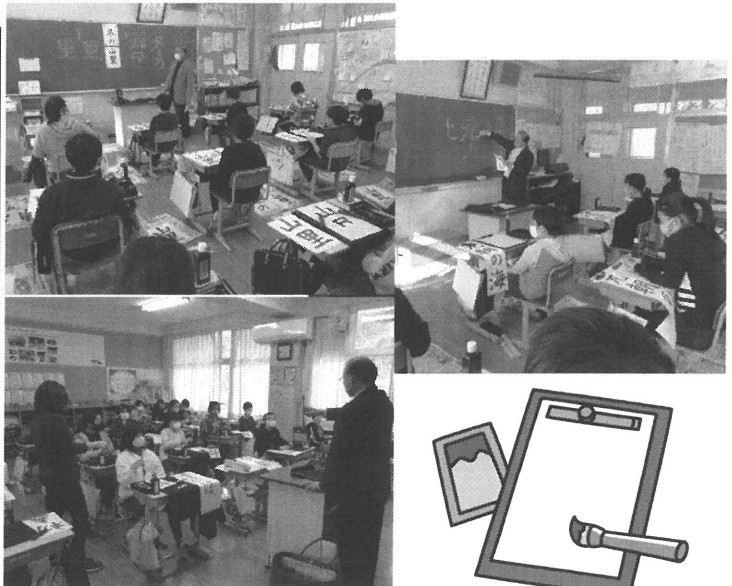
【第4学年】

# 初春の光

【第5学年】

# 元朝の海

【第6学年】



### 校長のひとりごと



いよいよ冬到来ですね。校庭も雪で覆われ、寒さも一段と厳しくなってきました。今年の冬は、雪が多いのでしょうか。雪が多いと道路が危険だし、少ないと夏の水不足が不安だし・・・、でも、昨年度よりは雪は多そうです。通勤・通学には十分な注意・配慮が必要ですね。

さて、私の大切にしていることPart2。それは「まだまだの自分」という言葉です。これは、私が尊敬する元校長先生の言葉です。人は、いくら頑張っても、いくら上達しても、満足することなく、「まだまだ」「まだまだ」と自分に言い聞かせることで、さらに伸びていく、さらに視野が広がるということです。ちなみに「まだまだ」の反対の言葉は、「そこそこ」という言葉かな・・・と思います。「まだまだの自分」を胸に、さらなる努力をしていくか、それとも、「そこそこの自分」で満足してしまうか・・・私は、「まだまだの自分」を選びたいものです。

四捨五入で60歳となる私ですが、「まだまだの自分」がいつも心の中にいます。「まだまだ」です。